



シンポジウム開催案内

●平成7年第130回秋季講演大会高温プロセス部会

高温プロセッシングにおけるプラズマの役割と応用

製鉄プロセスにおいてタンディッシュ溶鋼加熱への応用に見られるごとく、プラズマは加熱能力の高い熱源として、実用プロセスにおいて規模の大きな利用が進んでいる。ノーベルプロセッシングフォーラムでは、プラズマ研究グループの活動をもとに、プラズマ応用の現状を紹介し、高温プロセッシングにおけるプラズマ利用の新しい可能性について討論する。応用の先端的現状がわかりやすい講演内容を企画している。

1. 日 時：平成7年11月3日(金)
2. 場 所：大阪大学吹田キャンパス
3. 内 容：

座長：吉田豊信（東大）・武田紘一（新日鐵）・竹内宥公（大同）

9：00～9：30	（特別講演）高温プロセスにおけるプラズマへの期待	東工大	永田和宏
9：30～9：50	プラズマトーチ電極材料の最適化	阪大	牛尾誠夫
9：50～10：10	連铸プロセスにおけるプラズマ加熱利用技術	新日鐵	石井孝宜
10：10～10：30	金属Siの太陽電池グレードへの精製	川鉄	鈴木健一郎
10：40～11：00	アークプラズマイオンプレーティング	NKK	木部洋
11：00～11：20	水平一体型大電流プラズマ電子ビームによるステンレス鋼板へのTiNコーティング	川鉄	井口征夫
11：20～11：40	プラズマ分光診断	北大	石井邦宜
11：40～12：00	アーク加熱による蒸発現象と超微粒子合成	金材研	大野悟
12：00～12：20	高周波プラズマによるTi-Al ₂ O ₃ 混合超微粒子の作成とその特性評価	日新	谷崎裕則
13：10～13：30	水素プラズマによる金属の溶解精製およびリサイクルへの応用	東北大	三村耕司
13：30～13：50	アルミドロスからのアルミ回収	中部電	田中和士
13：50～14：10	ゴミ焼却灰減溶化処理	神鋼	鈴木富雄
14：10～14：30	水蒸気プラズマによるフロン分解	新日鐵	竹内順



シンポジウム開催案内

●平成7年第130回秋季講演大会材料の組織と特性部会

チタンにおける低コスト化材料学の可能性を探る

「チタン」フォーラムは、チタン系材料全体を対象として、低コスト化を意識した材料設計指針の確立を図るため、組成選択の考え方の見直し、組織と特性相関における統一見解の確立、省エネルギー型のプロセスの適用などについて議論する。その狙いは、コストという技術的課題において、学問的切り口での要素技術の有無を検討することである。そこで、下記の講演により現状解析と問題点の把握に努め、多くの方々の議論を通じて、その狙いの妥当性を明確にすると共に具体的課題の抽出を図る。

1. 日 時：平成7年11月5日(日)
2. 場 所：大阪大学吹田キャンパス
3. 内 容：

座長：河部義邦（金材研） 副座長：西村孝（神鋼）

13：00～13：30	低コスト化材料学の視点と提案	金材研	河部義邦
13：30～14：00	低コスト化技術の動向	神鋼	西村孝
14：10～14：40	低コスト化のための組成選択指針又は、低コスト化とエコマテリアル性	NKK	大内千秋
14：40～15：10	粉末冶金法による低コスト化	新日鐵	藤井秀樹
15：10～15：40	自動車用としての低コスト化の可能性	豊田中研	斎藤卓
15：40～16：10	総合討論		